年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　　5 組

教科担当者：（1組：　　）　（2組：　　）　（3組：　　）　（4組：　　）　（5組：　　）

使用教科書：（ 大修館書店　言語文化　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。

【学びに向かう力、人間性等】・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉える。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・現在と過去の交錯を、段落どうしの関係から読み取り、学習課題に沿って構成や表現の仕方を評価しようとしている。 ・叙述を基に登場人物の心情を読み取り、積極的に話し合おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	児のそら寝 古文冒頭選	○			・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	羅生門（芥川龍之介）		○		・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	枕草子		○		・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	A 単元 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・叙述を基に登場人物の心情を読み取り、積極的に話し合おうとしている。	芥川 故事成語①		○	○	・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・漢文訓読の基本的なきまりを理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。	土佐日記 故事成語②		○	○	・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物のい心情を読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・漢文訓読のきまりを確認する。また話の中で語られている教訓の意義を理解する。	○	○	○	8
3学期	A 単元 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。	1　甃のうへ（三好達治） 2　一つのメルヘン（中原中也）	○	○	○	・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。	○	○	○	7
	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	徒然草	○	○		・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。				8 合計 52